

介護支援専門員 部会

参加事業所数

52	事業所
----	-----

部会長

氏名	所属事業所
平本 哲也	居宅介護支援センター松林

副部会長

氏名	所属事業所
山崎 宏和	萩園ケアセンター
村松 小百合	訪問介護ステーション友
白髭 辰男	ツクイ茅ヶ崎室田
川口 美幸	湘南シニアサービス
石黒 秀樹	(社福)慶寿会 平和町介護サービスセンター

幹事

氏名	所属事業所
石黒 秀樹	(社福)慶寿会平和町介護サービスセンター
川口 美幸	湘南シニアサービス

活動方針・目標

- ①医療機関(医師会・歯科医師会・薬剤師会・病院等)や茅ヶ崎市各課、包括支援センターとの連携をさらに深める。
- ②(一社)神奈川県介護支援専門員協会主催第19回神奈川県介護支援専門員研究大会開催地として受託、実施。(新型コロナの影響で令和3年度に延期)
- ③部会内活動内容の負担軽減を行う。
- ④主任介護支援専門員の集まりのミーナの会の活動を推進する。
- ⑤他部会・他事業種との連携・情報共有と、研修会等の開催。

定例会

- ①部会長、副部会長会議を年2回実施。主任介護支援専門員の集まり「ミーナの会」の協力も得られ進めた。
- ②主任介護支援専門員の集まり「ミーナの会」の活動方針に沿った、会議と研修を年度内数回開催。

活動内容

- ・新型コロナ対応で過ぎた1年であった。その中、介護支援専門員に求められる利用者支援を会員で相互協力のもと進めた。コロナ禍でも、参集し開催を求められる研修があり感染対策を講じながら開催した。オンライン会議などのICT化の推進は主任介護支援専門員の集まりミーナの会を中心に、進んでいるがまだ全体浸透ではなく課題が残る。
- ・神奈川県介護支援専門員協会主催研究大会開催地として協力、準備を進めたがコロナの影響で令和3年度に延期。その分、令和3年度開催予定の日本介護支援専門員協会南関東ブロック大会開催地としても、当部会員が活躍できることとなった。
- ・他部会連携では協働事業などがなく、活動報告としてあげられるものはなかったが、連携で課題になることはなかった。

その他

- 新型コロナウイルスによる影響で、休業する事業所(居宅、通所など)あり、あらぬうわさや、詮索などしないようにする協力依頼を部会員に伝達した。また、神奈川県下の介護支援専門員地域団体会議で各地の取り組み(主にコロナ関連)を共有し、当地の取り組みなど(医療介護連携等)を発信した。
- ・年度内に2事業所が閉鎖、退会した。